

五 2 根拠に基づいた考えの記述 通過率38.9%

問題の趣旨

詩の共通点を踏まえ、根拠を明確にして自分の考えを書くことができるかどうかをみる。

学習指導要領における領域・内容

第1学年 B 書くこと ウ
伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。
第1学年 C 読むこと オ
文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広くすること。

(正答の条件)
次の三つの条件を全て満たしていること。
①引用した言葉から考えられる二つの詩の共通点を書いている。
②共通点から考えられる「金子みすゞの優しさ」を書いている。
③百二十字以上二百字以内で書いている。
(正答例)「星とたんぽぽ」を選んだ場合
金子みすゞは、「土」では「ぶたれぬ土」「ふまれぬ土」の役割に注目して「名もない草のおやどをするよ」と書き、「星とたんぽぽ」では目に見えない昼の「星」とたんぽぽの「根」に注目して「見えぬものもあるんだよ」と書いています。二つの詩に共通するのは、人に気付かれにくいものを取り上げているということです。そこから、人が注目しないものにも目を向ける金子みすゞの優しさがわかります。

高木さんと田中さんは、「読書ニュース」まで「みちあ」の記事を参考にして、「詩A」「詩B」のどちらかの詩を選んで「土」と組み合わせ、金子みすゞの優しさについて紹介しようと考えました。あなたならどちらの詩を選んで紹介しますか。「読書ニュース」金子みすゞの「下書き」の(Ⅰ)に入る紹介文を、「詩A」「詩B」のどちらかから選び、(Ⅱ)に入る紹介文を、「読書ニュース」まで「みちあ」の記事を参考にしながら、次の条件1〜3にしたがって書きなさい。

条件1 「土」と選んだ詩の本文中から、必要な言葉を引用すること。
条件2 「土」と選んだ詩に共通する点を取り上げて、紹介文を書くこと。
条件3 一二〇字以上二〇〇字以内で書くこと。

【読書ニュース】金子みすゞの「下書き」

読書ニュース
金子みすゞ
読書委員会

平成29年6月0日(読書通信)

土

選んだ詩(Ⅰ)

詩の紹介

金子みすゞの詩を選んで「土」と組み合わせ、金子みすゞの優しさについて紹介しようと考えました。あなたならどちらの詩を選んで紹介しますか。「読書ニュース」金子みすゞの「下書き」の(Ⅰ)に入る紹介文を、「詩A」「詩B」のどちらかから選び、(Ⅱ)に入る紹介文を、「読書ニュース」まで「みちあ」の記事を参考にしながら、次の条件1〜3にしたがって書きなさい。

(詩人の紹介)
金子みすゞ(本名は、山口県出身の詩人です。二六歳の若さでこの世を去りました。)

金子みすゞの詩を選んで「土」と組み合わせ、金子みすゞの優しさについて紹介しようと考えました。あなたならどちらの詩を選んで紹介しますか。

解答類型と傾向

解答類型		割合(%)
○	条件①②③を全て満たしていること。	35.5
○	条件②③は満たしている。条件①については、「共通するのは」といった書きぶりになっていないものの、共通点と解釈できる点を挙げて「金子みすゞの優しさ」を書いている。	3.4
×	条件①③は満たしているが、条件②を満たしていない。	24.5
×	条件①②は満たしているが、条件③は満たしていない。	1.9
×	上記以外の解答	22.0
—	無解答	12.7

分析と課題

条件②の共通点から考えられる「金子みすゞの優しさ」を書いていないという誤答が一番多い。このことは、金子みすゞの優しさについて自分なりに詩を解釈して考えることができているということである。文章を読んで自分の考えを持つとともに、それを記述することによって課題があると考えられる。

なお、「自分の考えを書く」ことについては、平成27年度全国学力・学習状況調査においても課題が見られた。(中学校国語B問題2三 正答率24.8%(全国23.0%))

質問紙調査との関連

(12) 国語の授業では、目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしています。

	よく	やや	あまり	全く
設問五 2 回答状況別の通過率 (%)	46.0	41.6	31.9	22.2

国語の授業では、目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていると回答した生徒ほど、根拠に基づいた考えの記述の設問の通過率が高くなる傾向がある。

指導のポイント

複数の本や文章などを比べて読み、自分の考えを書く必然性のある言語活動を設定した単元を通して指導しましょう。

授業例

第一次

- お気に入りの詩人が書いた作品を集めて読み、詩人のものの見方、考え方について感じたことを交流し合う「私のお気に入りの詩人交流会」を開くという計画を立てる。



単元の導入では、教師自身がお気に入りの詩人の作品やその詩人のものの見方や考え方について紹介し、生徒の興味関心を高めるとともに、学習の見通しを持たせましょう。

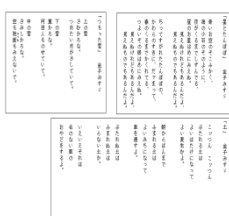
また、お気に入りの詩人についてお互いに語り合うためには、どのような詩の読み方をしなければならいかという課題の解決に向けた方策について考えさせることも大切にしましょう。

第二次

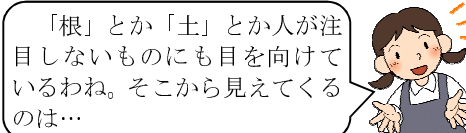
- 共通した教材として金子みすゞの複数の作品を取り上げ、金子みすゞのものの見方や考え方について話し合い、その過程で生じた疑問について他の資料も読み、紹介する文章にまとめる。

① 共通教材を用いて読み方を学ぶ

複数の詩を提示

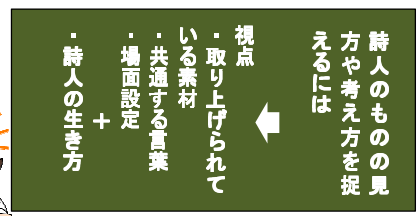


「お星」とか、「おやど」といった言葉の使い方も特徴があるね。



「根」とか「土」とか人が注目しないものにも目を向けているわね。そこから見えてくるのは…

詩を読む視点について話合う

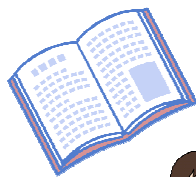


こういった視点で詩を読むと、詩人のものの見方や考え方が見えてきますね。



② 新たに生じた疑問を別資料で解決する

金子みすゞ論を紹介



みんなの話から、あらゆるものへの優しいまなざしが分かるね。でも、なんでこんなにもやさしいんだろう？



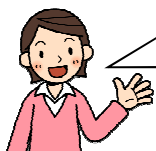
みすゞを研究している人は、みすゞ本人が人生で多くの寂しさや悲しさを感じたからと書いているよ。

みすゞのやさしさの原因は何だろう、という疑問を見付けましたね。詩集以外の本も読んで疑問を解決しましょう。



第三次

- 共通した教材での学びを生かし、自分のお気に入りの詩人の複数の詩を読んで詩人のものの見方や考え方について自分の考えをまとめるとともに、それらの詩の解説や対象となる詩人について書かれた資料も参考にしながら、詩人について紹介する文章にまとめる。
- 「私のお気に入りの詩人交流会」を開催する。



共通した教材で閉じることなく、自分が選んだ詩人の作品について分析させるとともに、その他の資料も参考文献として活用させながら、各自でまとめさせることが大切です。自ら思考し、表現することを繰り返すことが力を付けることにつながります。なお、書きあげた詩人を紹介する文章は、クラスで交流させ、他者の読み方、分析の仕方に触れさせましょう。